

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クレオ

コード番号 9698 URL <http://www.creo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阿南 祐治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理室長

(氏名) 土屋 淳一

TEL 03-5769-3640

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,146	1.1	116	△48.3	134	△41.4	△35	—
26年3月期第3四半期	8,057	0.7	225	76.8	229	74.5	85	73.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △14百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 98百万円 (90.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△4.12	—
26年3月期第3四半期	9.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,870	4,542	65.6
26年3月期	6,782	4,602	67.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,503百万円 26年3月期 4,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	11,500	1.0	300	9.2	200	354.0
	～12,500	～9.8	～400	～45.6	～300	～580.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

会計上の見積りの変更については、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,237,319 株	26年3月期	9,237,319 株
27年3月期3Q	581,146 株	26年3月期	579,583 株
27年3月期3Q	8,657,060 株	26年3月期3Q	8,713,411 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費などに弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果などもあって、緩やかに回復していくことが期待される状況でありました。

当業界におきましては、商談数の増加など、受注環境に上向き傾向が見えてきましたが、顧客の情報化投資、設備投資等に対しては慎重な動きが続いている状況であります。

このような状況の中、当社グループは平成23年4月1日付の当社株式会社化および会社分割により、事業ごとの責任と権限の明確化、スピード経営・自主独立経営の徹底、各業種・業態に最適な経営体制の確立、変化に対応出来る柔軟な経営体制の確立を実現し、より強固な経営基盤の確立並びに成長促進を目指しております。

なお、当第3四半期連結累計期間における、当社グループの状況は、前年同四半期に比べ、売上は順調に推移しましたが、利益に関しては利益減の事業が複数発生した事により、前年同四半期に比べ減少しております。前期の利益に大きな影響がありました、クレオマーケティング事業における不採算プロジェクトは、継続しているものの、損失縮小方向に推移しております。

以上の結果、売上高は、81億46百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益は、1億16百万円（前年同四半期比48.3%減）、経常利益は、1億34百万円（前年同四半期比41.4%減）、四半期純損失は、35百万円（前年同四半期は四半期純利益85百万円）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

- ・クレオマーケティング事業（主たる事業：基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供）

「人事給与」「会計」を中心としたトータルICTソリューションZ e e M製品を中心に展開をしましたが、大型商談の延伸などが影響し、売上・利益共に、前年同四半期より減少となりました。なお、前期の利益に大きな影響がありました、不採算プロジェクトは、継続しているものの、損失縮小方向に推移しております。

その結果、売上高は15億84百万円（前年同四半期比5.6%減）、営業損失79百万円（前年同四半期は営業損失37百万円）となりました。

- ・クレオソリューション事業（主たる事業：システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発）

前期のよい流れを継続し、サービス品質の向上による顧客との信頼強化、商談時からのプロジェクト点検の徹底を推進した結果、売上は前年同四半期に比べ大幅に増加となりました。利益に関しては、今後の事業拡大と体制強化に向けた設備投資を実施した事により、前年同四半期より減少しております。

その結果、売上高は26億32百万円（前年同四半期比13.8%増）、営業利益63百万円（前年同四半期比51.7%減）となりました。

- ・筆まめ事業（主たる事業：はがき・住所録ソフト「筆まめ」をはじめとしたソフトウェア製品の企画・開発・販売）

売上は、平成26年9月に発売した毛筆ソフト「筆まめVer. 25」の出荷が順調に進んだ結果、前年同四半期より微増となりました。利益に関しては、新規ビジネスに向けた、クローズドSNS『まめほ』、クラウドサービス『筆まめクラウド住所録』の開発投資等により、前年同四半期より減少となりました。

その結果、売上高は10億27百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益1億9百万円（前年同四半期比27.8%減）となりました。

- ・クレオネットワークス事業（主たる事業：ICT基盤サービスプラットフォームとメディアプラットフォームの提供）

ビジネス基盤サービス「SmartStage」を中心としたサービス展開を推進しておりますが、前期は大型案件が発生した影響により、前年同四半期に比べ売上、利益共に減少となりました。

その結果、売上高は3億84百万円（前年同四半期比12.1%減）、営業損失52百万円（前年同四半期比は営業損失40百万円）となりました。

- ・クリエイトラボ事業（主たる事業：ヘルプデスクなどを中心としたサポート&サービス）

サービス品質の向上、既存顧客および社内のコミュニケーション強化を前期に引続き継続した結果、前年同四半期に比べ売上は同水準、利益は経費削減等により大幅な増加となりました。

その結果、売上高は25億16百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益1億16百万円（前年同四半期比50.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億69百万円の増加となりました。

これは主として現預金、仕掛品の増加によるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、82百万円の減少となりました。

これは主としてソフトウェアの減少によるものです。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億22百万円の増加となりました。

これは主として返品調整引当金の増加によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、59百万円の減少となりました。

これは主として四半期純損失の計上、配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、平成26年5月14日付け「平成26年3月期決算短信」において公表いたしました数値より変更はございません。

なお、当社の連結子会社である株式会社クレオネットワークスは、平成27年1月9日開催の取締役会で事業の一部であるメディア事業を株式会社アイフィスジャパンへ譲渡する事を決議いたしました。詳細につきましては、平成27年1月9日に公表いたしました「子会社の事業譲渡及び特別利益の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのための様々な要因の変更により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

①クレオマーケティング事業については、新規顧客の獲得の遅れが生じた場合、あるいは通期の連結会計期間に予定しているライセンス販売等の検収が来期にずれ込む場合には、予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

②クレオソリューション事業については、事業の性質上通期の連結会計期間末に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が来期にずれ込む可能性があります。また、今後の開発状況によっては不採算プロジェクトが顕在化する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社の連結子会社である株式会社クレオソリューションは、平成27年1月に一部の事業所の移転を実施いたしました。これにより、移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、当該物件の不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、支出発生までの見込期間を短縮し、将来にわたり変更しており、かつ、見積額をより精微な金額に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ、11百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は「セグメント情報等」に記載しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,148	3,286
受取手形及び売掛金	2,041	1,816
商品及び製品	21	18
仕掛品	174	489
その他	216	162
流動資産合計	5,603	5,772
固定資産		
有形固定資産	174	198
無形固定資産		
のれん	2	0
その他	703	519
無形固定資産合計	706	520
投資その他の資産	298	378
固定資産合計	1,179	1,097
資産合計	6,782	6,870
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	472	446
未払法人税等	91	41
賞与引当金	429	224
返品調整引当金	89	253
資産除去債務	9	11
その他	995	1,232
流動負債合計	2,087	2,209
固定負債		
未払役員退職慰労金	28	26
資産除去債務	46	53
その他	19	38
固定負債合計	93	117
負債合計	2,180	2,327
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	743	743
利益剰余金	843	764
自己株式	△178	△178
株主資本合計	4,558	4,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	24
その他の包括利益累計額合計	7	24
少数株主持分	36	38
純資産合計	4,602	4,542
負債純資産合計	6,782	6,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,057	8,146
売上原価	6,102	6,361
売上総利益	1,954	1,784
販売費及び一般管理費	1,729	1,667
営業利益	225	116
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	2
受取保険金	1	—
投資事業組合運用益	—	12
その他	1	4
営業外収益合計	4	19
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	1
営業外費用合計	0	1
経常利益	229	134
特別損失		
和解金	55	10
ソフトウェア評価損	—	85
その他	1	0
特別損失合計	56	96
税金等調整前四半期純利益	172	37
法人税、住民税及び事業税	76	57
法人税等調整額	7	12
法人税等合計	83	70
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	88	△32
少数株主利益	3	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	85	△35

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	88	△32
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	17
その他の包括利益合計	9	17
四半期包括利益	98	△14
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95	△18
少数株主に係る四半期包括利益	3	3



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,679	2,313	1,026	437	2,599	8,057
セグメント間の内部売上高 又は振替高	128	10	0	104	377	620
計	1,807	2,323	1,027	542	2,977	8,678
セグメント利益又は損失(△)	△37	130	151	△40	77	281

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	281
セグメント間取引消去	△98
全社費用及び利益 (注)	43
四半期連結損益計算書の営業利益	225

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料等であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	クレオ マーケティング 事業	クレオ ソリューション 事業	筆まめ 事業	クレオ ネットワークス 事業	クリエイトラボ 事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	1,584	2,632	1,027	384	2,516	8,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	10	0	121	400	572
計	1,623	2,643	1,028	506	2,917	8,718
セグメント利益又は損失(△)	△79	63	109	△52	116	156

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	156
セグメント間取引消去	△42
全社費用及び利益 (注)	2
四半期連結損益計算書の営業利益	116

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料等であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項  
(会計上の見積りの変更)

当社の連結子会社である株式会社クレオソリューションは、平成27年1月に一部の事業所の移転を実施いたしました。これにより、移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、当該物件の不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、支出発生までの見込期間を短縮し、将来にわたり変更しており、かつ、見積額をより精微な金額に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、クレオソリューション事業の当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は11百万円減少しております。